

第3次綾部市人権教育・啓発推進計画 人権かがやきプラン主要な指標状況調査表

※黄色セルの欄に記入してください。

章	節	進捗を共有する指標	担当課	2021(令和3)年度実績値	目標値 2024(令和6)年度	2022(令和4)年度実績値	OΔ×	2021(令和3)年度の実績分析・評価 及び今後の方向性	前年度を踏まえ上での 2022(令和4)年度の実績分析・評価	備考
第3章 人権教育・啓発の推進を図る施策の推進	第3節 課題別施策の推進	（同一節内複数項目） 人権福祉センター各種事業の参加者数	人権推進課	2,185人	4,500人	3,078人	Δ…取り組み だが課題が 残った	参加者の固定化と人数減少が依然として見られたが、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、事業を中止したことも要因の一つである。今後も引き続き、事業の進捗を踏まえ、魅力ある活動を実施する必要がある。	新型コロナウイルス感染症の状況を見、対策を行いつながり、各種事業を開催し、多くの人の参加を得ることができた。（一部中止した事業がある。）参加者の固定化が見られるが、今後も事業の進捗を踏まえ、魅力のある事業の実施に努めたい。	
		女性の権利問題 あひアカデミー等各種講座への参加者数	人権推進課	121人	300人	200人	Δ…取り組み だが課題が 残った	新型コロナウイルス感染症の影響により開催できない講座もあり、参加人数が減少した。今後は、参加しやすい日程や男性などにも興味を持ってもらえる講座内容の選定など参加者の幅が広がるよう工夫が必要である。	男性の育児参画促進や防災における男女共同参画、アンガーマネジメント等新たなテーマのミニ講座を開催し、男性等の参加につながったが、全体的に参加人数は減少傾向である。さらに、テーマの選考等に工夫が必要である。	
		男女共同参画社会づくり図画・ポスターコンクール出展数	人権推進課	416作品	600作品	394点	Δ…取り組み だが課題が 残った	取組により男女共同参画への関心を高めることができた。	取組により男女共同参画への関心を高めることができたが、作品数は減少している。	
		審議会・委員会等への女性の参画率	人権推進課	29.5%	40%以上	31.0%	Δ…取り組み だが課題が 残った	あて願によらない人選等を庁内に働きかけたが、登用率の増加は見られなかった。今後も引き続き、庁内への働きかけを継続し女性委員登用率増加に努める。	あて願によらない人選等について庁内に働きかけ、わずかながら登用率が増加した。今後も引き続き、庁内への働きかけを継続し、女性委員の登用率増加に努める。	
	人子 権利 問題の	児童虐待対策職員等児童虐待防止研修会参加者数	こども支援課	51人	100人	83人	Δ…取り組み だが課題が 残った	10月1日に綾部市要保護児童対策地域協議会において、関係機関等児童虐待防止研修会を開催したが、コロナ禍における感染防止対策のため人数制限を行ったため参加者数は目標値に届かなかった。	綾部市要保護児童対策地域協議会において、児童虐待防止研修会を開催したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため人数制限を行ったため参加者数は目標値に届かなかった。 ・8月26日 58名（主任児童委員連絡協議会） ・10月31日 25名（代表者会議）	
	高齢者の 人権 問題	認知症サポーター養成人数	地域包括支援課	11,814人	13,200人	12,062人	○…概ね取 り組めた	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により地域の集會等や企業の依頼などが減少し開催回数も少なく新規の養成者数も減少した。開催した講座は、幅広い世代を対象に実施し啓発を行った。	地域や学校など、集団における講座開催数が徐々に増加し、新規の養成者数も増加した。今後も、サロンやその他集まりなど、綾部市全体で幅広く開催できるように呼びかけを行う。	
	人権福祉センターサロン参加者数	人権推進課	228人	600人	434人	Δ…取り組み だが課題が 残った	各館共に、事業に工夫するも、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、事業を中止したことも参加者が減少した要因の一つである。また、参加者の固定化や高齢化により、参加者が減少傾向にある。内容等を今一度見直し、参加者の維持確保に努める必要がある。	新型コロナウイルス感染症の状況を見、対策を行いつながり、昨年より多くのサロンを開催し、多くの人の参加を得ることができた。参加者の固定化や高齢化傾向であるため、内容等を精査し、参加者の維持確保に努めたい。		
	生活・介護支援サポーター人数	地域包括支援課	502人	582人	513人	○…概ね取 り組めた	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、養成講座を中止した。従来の講座で養成されたサポーターについては給手紙を送るなど内容を変更して可能な活動を実施	令和3年度まで新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から養成講座を中止していたが、令和4年度から講座を再開した。活動内容については、訪問をするなどの対応は難しく、給手紙を送る活動を続けている。		
	障害のある 人の 人権 問題	スポーツの祭典あやリンピック参加者数	障害者支援課	0人	250人	138人	○…概ね取 り組めた	コロナ禍により開催ができなかった。	コロナ対策を実施しながら短時間で取り組みとなったため、コロナ前ほどの参加者にはならなかったものの、障害の有無に関わらず、スポーツを通じた交流により理解が深まる貴重な行事となった。	
	障害のある人への理解・啓発活動数	障害者支援課	11回	15回	11回	○…概ね取 り組めた	コロナ禍による制限により、手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の確立に関する条例の市民向け講演会は実施できなかったが、個別の条例に関する研修をはじめ、障害について理解が深まるよう啓発の機会を設けることができた。また、小・中学校や自治会などで講演をすることにより、障害福祉への理解が深められた。	手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の確立に関する条例の市民向け講演会を開催し条例に関する理解や障害について理解が深まるよう啓発の機会を設けることができた。また、小・中学校や自治会などで講演をすることにより、障害福祉への理解が深められた。		
	就労継続支援（B型）利用者数	障害者支援課	121人	130人	123人	○…概ね取 り組めた	障害のある人が仕事を通じて能力を発揮し社会参加できる機会を確保した。	障害のある人が仕事を通じて能力を発揮し社会参加できる機会を確保した。		
	外国 語 問題の 人	日本語教室等参加者数	企画政策課	304人	1,100人	542人	○…概ね取 り組めた	綾部国際交流協会に委託し、原則月4回の日本語教室と月4回の相談業務を実施（日本語教室23回・相談事業23回）、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中の日本語教室中止や参加自粛もあったが、学習者延べ81人、ボランティア延べ228人の計304人の参加を得た。	綾部国際交流協会に委託し、原則月4回の日本語教室と月4回の相談業務を実施（日本語教室48回・相談事業48回）、参加者は学習者延べ214人・ボランティア延べ328人の計542人となった。	
	人 権 問題 を め ざ す	登録型本人通知制度登録者数	市民・国保課	527人	1,000人	574人	Δ…取り組み だが課題が 残った	市の各種イベントや健康診断会場、確定申告会場に出向き、制度の周知・啓発と登録依頼を実施し、123人の登録があった。単年度では過去2番目の登録人数となったが、目標人数達成に向け、さらに周知・啓発が必要。	市の各種イベント等に出向き、制度の周知・啓発と登録依頼を行った。周知・啓発方法について見直しを行い、関係課の協力を得ながら、引き続き登録者の増加に努める。	

第3次綾部市人権教育・啓発推進計画 人権かがやきプラン主要な指標状況調査表

※黄色セルの欄に記入してください。

章	節	進捗を共有する指標	担当課	2021(令和3)年度実績値	目標値 2024(令和6)年度	2022(令和4)年度実績値	○△×	2021(令和3)年度の実績値分析・評価 及び今後の方向性	前年度を踏まえた上での 2022(令和4)年度の実績値分析・評価	備 考
第4節	市民参加・市民参画と支援助の推進	人権を考えるセミナー参加者数	社会教育課	250人	1,250人	のべ656人	○…概ね取り組めた	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場を変更して実施した。当初8月を予定していたが非常事態宣言期間のため12月に延期して開催した。同和問題にかかわる人権問題について取り上げ、学ぶ機会を確保した。	新型コロナウイルス感染症対策を講じ、年間5回実施することができた。同和問題をはじめとするさまざまな人権問題を取り上げ、学ぶ機会を確保した。	
		全綾部市人権教育研究会参加者数	社会教育課	351人	650人	432人	○…概ね取り組めた	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限を行ったため、参加人数は昨年度とほぼ同数となったが、内容についての満足度は高かった。次年度に向け、集会内容や広報を工夫し、参加者の増加に努める。	新型コロナウイルス感染症対策を講じ、人数制限を行わずに実施した。参加人数は昨年度と比べ増進であったが、内容についての満足度は高かった。次年度に向け、集会内容や広報を工夫し、参加者の一層の増加に努める。	
		綾部市人権教育講演会参加者数	社会教育課	211回視聴(ライブ配信) 241回視聴(録画配信) 452回視聴(合計)	400人	343人	○…概ね取り組めた	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、WEB配信を実施した。視聴者のライフスタイルに合わせて参加いただけるというメリットがあるが、講演内容を保存されたいという恐れや話の一部分を切り取られてしまう危険もある。今後WEB配信については検討が必要。	新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施することができた。参加される年齢層が高い傾向にあるため、より幅広い年齢層の方にきてもらうことができるよう広報に努める。	
		あやべ人権フェスタ参加者数	人権推進課	70人	300人	1人	△…取り組めたが課題が残った	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限をしての開催だったが、ミニコンサートやトークショーなど同和問題だけにとどまらず、さまざまな人権問題についての取組を実施できた。	あやべ人権フェスタ2022開催に向けて、企画、調整、広報等準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止した。	
		あいフェスティバル参加者数	人権推進課	1人	900人	230人	○…概ね取り組めた	R3年度は開催無し。 R4年度は、例年とおりの開催とし参加者の関心のある講演を行うなどにより参加を促す。	R4年度は、あいセンターにおいて開催したが、コロナの影響もありワークショップなどの開催は見送った。講演会については、市民からなる「準備委員会」での意見を反映した講師選択を行い、多くの方に参加をいただいた。 次回は、R6年度の開催となるが実行委員等の意見を反映しながら開催し、多くの人が参加できるフェス	
	各種団体の推進	部落解放・人権政策確立要求 綾部実行委員会参画団体数	人権推進課	40団体	42団体	40団体	△…取り組めたが課題が残った	引き続き、人権啓発活動の取組や研究会等に積極的に参加し、学習する必要がある。また、各種団体への加入促進に努める。	引き続き、人権啓発活動の取組や研究会等に積極的に参加し、学習する必要がある。また、各種団体への加入促進に努める。	
		綾部市人権教育推進連絡協議会参画団体数	社会教育課	50団体	52団体	51団体	△…取り組めたが課題が残った	引き続き、加盟団体への情報提供の充実を図るとともに、綾部市人権教育推進連絡協議会の趣旨を理解し新たに加入していただけるよう努める。	引き続き、加盟団体への情報提供の充実を図るとともに、綾部市人権教育推進連絡協議会の趣旨を理解し新たに加入していただけるよう努める。	